

特集 広報のぼりべつが 700号を迎えました

昭和50年12月  
第200号



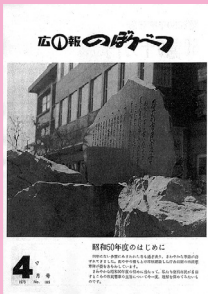
昭和55年4月  
第300号



昭和59年8月  
第400号



昭和50年4月  
第185号



昭和45年8月  
第130号



昭和43年2月  
第100号



昭和37年5月  
第43号



昭和36年5月  
第39号



創  
昭和26年9月刊



昭和36年3月  
第38号



広報紙の役割とは

広報紙にとって最も大切なことは、皆さんに行政情報をお伝えするということです。

現在はテレビやラジオ、新聞、インターネットなどで多くの情報を得ることが出来ます。しかし一方で、各家庭に配られる広報紙は、市からのお知らせや市内の各種行事といった、より身近な情報が得られる貴重な手段だといえます。

市の広報紙は娯楽紙ではありませんので、おもしろい記事だけを取り上げるわけにはいきません。市の財政状況や税金、各種制度のお知らせ

といった難しい内容についても、お知らせしていかなければなりません。しかし、だからといって読まれないければ意味がありません。

今回、広報のぼりべつが700号を迎えました。歴代の広報担当者は、「いかに読みやすく、そして正確に情報を伝えることができるか」という問題意識を常に持ち、広報紙の作成に取り組んできました。

これからも、現状に満足することなく、これまで以上に行政の動きや考え方を分かりやすくお伝えし、市民と行政の間の距離をゼロに近づけていける架け橋となれるように努めてまいります。